

協同の発見

きょうどうのはっけん

第234号 2012.1



特集

全国よい仕事研究交流集会2011

地域をよみがえらせる・ゆたかにする
いまこそ、市民の仕事おこしとよい仕事を

◎第1部 パネルディスカッション

「暮らし、仕事、地域コミュニティの再生に立ち上がる被災地の市民の力」

梶原 三雄×上野 孝雄×重盛 智×青木 未知×大江 正章

◎第2部 記念鼎談

「東北に新しい日本を

～地域から市民の手で、命に最も価値を置く地域循環型社会を創り出す～」

吉原 毅×植田 和弘×永戸 祐三

◎分散会報告

◎特別研究員の報告と「よい仕事」の研究 古谷 直道

協同総合研究所

JAPAN INSTITUTE OF CO-OPERATIVE RESEARCH

題字／藤原 桂州

■巻頭言 社会的困難に抗した「仕事おこし」と「よい仕事」 … 平本 哲男(ワーカーズコープセンター事業団九州事業本部長、人事・学習研修部部长)	2
■特集：全国よい仕事研究交流集会2011 報告 地域をよみがえらせる・ゆたかにする いまこそ、市民の仕事おこしとよい仕事を	
1日目	
◎第1部 パネルディスカッション 「暮らし、仕事、地域コミュニティの再生に立ち上がる被災地の市民の力」 ……	5
コメンテーター …… 大江 正章(コモンズ代表、ジャーナリスト)	
パネリスト …… 梶原 三雄(企業組合ビホロ理事長)、上野 孝雄(岩手県高齢者 生活協同組合理事)、重盛 智(生活クラブ生協埼玉専務理事)、 青木 未知(日本労働者協同組合連合会東北復興本部登米事業所所長)	
◎第2部 記念鼎談 「東北に新しい日本を～地域から市民の手で、命に最も価値を置く 地域循環型社会を創り出す～」 ……	11
登壇者 …… 吉原 毅(城南信用金庫理事長)	
…… 植田 和弘(京都大学大学院教授)	
…… 永戸 祐三(日本労働者協同組合連合会理事長)	
2日目	
◎第1分散会 若者支援と社会的居場所づくり …… 佐藤 征和(ワーカーズコープ盛岡地域若者サポートステーション)	23
◎第2分散会 『新しい公共』とは何かを問う …… 下村 朋史(センター事業団北関東事業本部事務局次長)	29
◎第3分散会 農・環境と結んだ社会連帯・仕事おこし …… 小林 啓示(ワーカーズコープ熊本出張所)	34
◎研究員コメント …… 島田 圭一郎(協同総合研究所顧問、研究員)	42
◎第4分散会 農・環境と結んだ社会連帯・仕事おこし …… 野田 恵(協同総合研究所特別研究員)	47
◎第5分散会 障がいのある児童の居場所づくり …… 池田 明彦(ワーカーズコープ墨田たてかわ地域福祉事務所所長)	53
◎第6分散会 働く仲間の協同を求めて …… 岩田 雅弘(センター事業団東京三多摩事業本部エリアマネージャー)	60
◎第7分散会 地域との協同・社会連帯とまちづくり …… 三船 洋人(ワーカーズコープ青森三陸準備室)	65
◎第8分散会 地域との協同・社会連帯とまちづくり …… 久松 一弘(ワーカーズコープ鹿児島島始良事業所所長)	71
◎第9分散会 地域・家族の絆の再生とコミュニティケア …… 千葉 宣明(センター事業団神奈川事業本部事務局次長)	75
◎第10分散会 地域・家族の絆の再生とコミュニティケア …… 米田 泰一郎(センター事業団東京東部事業本部)	80
◎第11分散会 『食』のつながりのある地域づくり …… 船越 謙(ワーカーズコープ秋田大仙事業所所長)	87
◎研究員コメント …… 小橋 暢之(協同総合研究所研究員)	92
◎第12分散会 利用者・地域のニーズに応える仕事おこしへの挑戦 …… 浜 由美(センター事業団東京南部事業本部 港・品川エリアマネージャー)	95
◎第13分散会 利用者・地域のニーズに応える仕事おこしへの挑戦 …… 今城 誠(ワーカーズコープ多治見事業所所長)	100
◎第14分散会 基金訓練・職業訓練講座から仕事おこしへの挑戦 …… 小椋 真一(センター事業団北陸信越事業本部事務局次長)	104
◎第15分散会 障がいのある人の訓練から就労・仕事おこし …… 古澤 光(ワーカーズコープ新居浜事業所所長)	108
◎まとめ「当事者や地域とともに仕事をおこし、FEC自給コミュニティづくりへ」 …… 田中 羊子(ワーカーズコープ・センター事業団専務理事)	113
◎特別研究員の報告と「よい仕事」の研究 …… 古谷 直道(協同総研副理事長、研究員)	115
■労協連だより …… 古村 伸宏	124
■研究所だより・活動日誌 …… 細越 雄二/楠野 晋一	125

巻頭言

社会的困難に抗した 「仕事おこし」と「よい仕事」

平本 哲男(ワーカーズコープセンター事業団九州事業本部長、人事・学習研修部部长)

今、私たち労働者協同組合の「原則」の筆頭に掲げている「よい仕事」思想は、「協同労働」の進化と共に、他方でまた、社会情勢に応える形で内容をますます深めその役割を格段に高めているように思う。この「よい仕事」は労働者協同組合の原則にある、「地域に必要な仕事をおこす協同組合」との根本規定を貫く主動因となり、「仕事おこし」の伝播力としての役割を、その持っている思想自体の力で演じ始めている。

「よい仕事」とは「社会の諸困難を発見し、その解決に向けた仕事自身を創ること」と規定され始めた。障がい児の行き場がないなら居場所を、学校へ行く事が出来ないなら代わりの場を、何か東北へ支援が出来ないかと農業と無縁の若者が「米作り」を始めだすなど「仕事を創り上げる」という「仕事」に向かい出した。

激動の情勢が「よい仕事」に求めたこと

それまでの「よい仕事」の捉え方は、一般の民間企業が唱える顧客満足度の評価基準への労働者協同組合としての反発から、

サービスの利用する側される側の対立を越えた連帯性を重んじた相互支援との捉え方に立脚していた。とは言え、その様態は限られた実践の存在に規定され、反発はあるものの、現場での技術論や帳票類の管理及び制度に即した仕事などへと認識され、どちらかといえば内へ矮小化へとそのベクトルは向いていたように思う。

そのような中、折からのリーマンショック等に始まった今世紀初頭の世界の激動は、だれもが失業や貧困など、いわば荒れ狂う社会矛盾を直視せざるを得ず、社会の在り様を考えざるを得ないことを求めてきた。見えてきた社会の現実、人々に底知れない疎外感を伴いながら、深刻の度合いをますます深めている。一人でお母さんの帰りを夜中まで待つ小学生。九九が出来ない中学生。学校の給食しか食べていない定時制高校生。経済循環によって社会統合からはじき出される労働者群。目を組織内に向ければ、家族の失業、自身の病気で即生活が成り立たない事態へ。仕事がない故に、家族の内に自ら若い命を絶っていく事実、直面しなければならぬ組合員。そして震

災と原発事故。一方で、個々の生存権そのものが脅かされる事態に至っている。

「よい仕事」が現場から「地域と生活の全てを担う仕事おこし」へと向かい出した

しかしながら、この深刻な社会状況は他方でこれへの反撃を力強く生み出し、「よい仕事」思想も、その在り様を一変させつつある。自身の生活も、その諸困難・諸矛盾に巻き込まれ、時には直撃されるに至って、私たち組合員は、それまでの殻を一気に打ち破り、働く現場からその働き方そのものに変更を加え始めた。

変更とは、「よい仕事」を「仕事おこし」に直結させ、実践を始めるに至りだしたということである。「よい仕事」が、与えられた仕事の中で「イー仕事」をすることから、失業・貧困・孤立・分断に抗した「仕事そのものを創る仕事」に発展・転化させる事態に至らせた。時代の要請に応える形で、その思想が鍛えられていると言ってもよいと思う。

人間の全面的な発達と「よい仕事」と「仕事おこし」

現場でどんなに素晴らしい実践を行っていても、「仕事おこし」を伴った「よい仕事」思想が、その中心に座らなければ、制度に縛られその枠組みに縛られ「よい仕事」

は一定の範囲内に留まる必然性を持っていた。したがって、これを突破する手立ては「仕事おこし」に向かうこと。逆に言えば「仕事おこし」に結実させていく事が、「よい仕事」を貫いていく保障になりつつある。

「よい仕事」と「仕事おこし」が、労働者の自発性・自主性が本格的に発揮される実践を創り上げている。必要なら仕事をも創る事ができる働き方は、その人を自由に解放する。指揮命令を旨とした雇用労働下では成り立たない事実であり、「よい仕事」思想に基づいた「仕事おこし」に向かうことは、真に協同と連帯を担いうる組合員に成長する可能性を手にし出したといえる。

「よい仕事」と社会の変革

東日本大震災により、協同と連帯が高まり生活の見直しが図られるかのような側面を生み出してはいるが、時間の経過と共にいまだ高度成長を競争一点張りの新自由主義がむしろ復活し、その歩みを強めている。日本資本主義は、技術革新(よい仕事)で多く売るから、経費削減で蓄積を強める方向しか見出していないように思う

「よい仕事」思想が何処まで社会の変革思想として、そのあり方を高める事が出来るのか。文字通りその実践が試される時代に入った。ワーカーズコープの仲間、全事業所の奮闘が求められる。

協同総合研究所は、労働者、市民が自らの力で自律的に仕事と生活の豊かさを求める活動を支援するシンクタンクです。わが国にも「大量失業の時代」が到来する中で、労働者、市民が自主的に仕事おこしをする労働者協同組合(ワーカーズコープ)への注目が増えています。研究所は、わが国唯一の「労働者協同組合」に関する専門研究機関です。



研究活動をネットワークし、蓄積された情報を資源として支援する「協同の発見」を会員のみなさまに毎月お届けいたします。